



学校だより

令和3年3月10日 上田市立第二中学校 No.12

絆の架け橋 ～信頼は信頼を呼ぶ 今年度最後の校長講話より～

2019年11月20日、ポーランドのスタラ・ヴェシという町に「ポーランド・シベリア孤児記念小学校」という公立の小学校ができました。この小学校は、ポーランドと日本のつながりの中で生まれました。

ポーランドは、10世紀に建国。しかし18世紀には、ロシア・プロイセン・オーストリアの3つの国に侵食され、国自体が消滅し、多くの人々がシベリアで生活することになります。

1917年にロシア革命の内戦の影響がシベリアにまで及び、ポーランド人は難民となり、餓死・病死・凍死する人も続出します。悲惨な状況を見かねて、ウラジオストクのポーランド人が「ポーランド救済委員会」を立ち上げます。

1920年6月18日、会長のアンナさんの悲痛な訴えを聞いた日本政府は、孤児救済事業を日本赤十字社に要請。異例の早さで救済が決定します。

翌月、57人の孤児を乗せた陸軍の輸送船が福井県の敦賀港に入港します。翌年までに375人の孤児と付き添いのポーランド人65人が日本に迎えられ、東京の福田会育児所に収容されます。

孤児たちの多くは栄養失調で、皮膚病や百日咳にかかっている孤児たちも多く、髪を丸刈りにしていました。アントニーナ・リロさんは、「病気の私を、日本の看護婦さんはとても優しく世話をしてくれました。」と70年後のインタビューに答えています。

しかし、1921年4月。東京で腸チフスが流行します。孤児たちも22人が罹患してしまいます。この時、医師や看護師が昼夜の別なく、付きっきりで看病します。その際、看護師の一人松澤フミさんが感染し、お亡くなりになります。フミさんは23歳。白衣に身を包んで3か月でした。ヨゼフ副会長が後に、ポーランド政府の機関誌でこんなことばを残しています。「彼女は献身的行為の犠牲となりました。あなたの名はポーランド人の心の中にずっととどまるでしょう」

1922年、日本赤十字社は第2回の救援活動を行い、390人の孤児を保護。この子たちは大阪の市立公民病院の看護婦寄宿舎に収容されます。大阪でも子どもたちは歓迎され、女学校の生徒たちの慰問や映画の上映会、大阪城の見学、教会での礼拝、あちこちでもてなされました。孤児たちが大はしゃぎしたのは天王寺動物園でした。園長さんの計らいで、檻から出された象の背中に乗せてもらったのです。動物園からの帰り際に子どもたちが園長さんにたどたどしい日本語で「アリガト」と伝える姿を、園長さんは涙ぐみながら受けていたといわれます。

1922年9月。アメリカ経由でポーランドまで戻れる船便が確保されます。孤児たちは、順々に横浜港と神戸港から日本を離れることになりました。孤児たちには洋服が新調され、毛糸のチョッキも支給されました。見送る医師や看護師、近所の人々の首に抱き着いて泣いて離れない子もいたそうです。

1921年3月、ソ連との戦いに勝利したポーランドは独立します。ポーランドに戻った孤児たちをアンナ会長は一つの施設に集めてポーランド語を教え、「日本への感謝を忘れるな」を合言葉に日本で覚えた歌なども歌い継がれます。

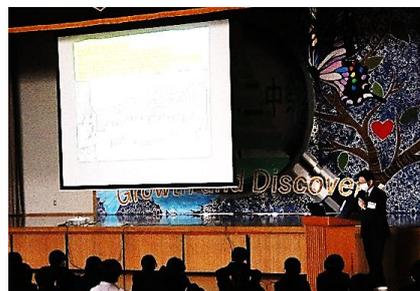
ところが帰国して17年後の1939年、ヒトラーのポーランド侵攻が始まり、またもやポーランドは国家が消滅してしまいます。開設したばかりの孤児院にもナチスの秘密警察が踏み込んできます。その窮状を聞き、日本の大使館員がそれを守ります。「この子たちは私たちが面倒を見ており、身元は保証する。さあみんな。ドイツの人たちに日本の歌を聞かせて。」同盟国日本の「君が代」を歌われては秘密警察もどうすることもできず、引き上げたといわれています。しかしこのワルシャワ大使館も1941年には閉鎖されてしまいます。そして第二次世界大戦後、ポーランドは社会主義国家、ソ連の衛星国として支配下に置かれ、後に1989年選挙の結果、民主国家として成立します。

1995年、日本で阪神淡路大震災が起こります。ポーランドはいち早く救援活動に入ってくれました。震災の悲惨さを見たスワフ日本大使館参事官が「シベリア孤児と同じように、震災で両親を失い悲惨な目にあった被災者をポーランドに招いて心を慰めることはできないか」と提案します。そして、2年間に50人の小中学生がポーランドに招待されます。その歓迎会で元シベリア孤児がこんなお話をします。「私と弟の人生は、75年前に日本の皆さんに助けられて授かったものです。いつか恩返しがしたいとずっと考えてきました。皆さんの身に起こった不幸を思うと慰める言葉も見つかりませんが、私たちは日本人から受けた親切をずっと宝物のように思って生きてきました。」

この時日本の被災児の皆さんを収容した施設がのちに、「ポーランド シベリア孤児記念小学校」になります。

シベリア孤児記念小学校という校名に対しては、反対する人も多かったそうです。「シベリア孤児」という自分たちにとってつらい思いのある言葉を校名にすることに対する反対でした。しかし、「歴史を忘れてはいけない。この学校を日本とポーランドの交流の拠点となる学校にしたい」という願いを校長先生が語り歩きます。それを地域の方も受け止め、たくさんの小学生が通う学校になっているそうです。

相手の心を思う気持ち、その思いは国と国との心を結び、時代を超え、距離を超え、そして言葉を超えて直接相手の心に深く結びつくものだと思います。自分のことで精一杯になってしまっている今こそ、相手のことを思いやる心をもった社会を築いていかななくてはならないと感じます。



全校が体育館にそろって
お聞きした校長講話

「3年生に感謝とエールを送るために」～3年生を送る会に向けて～

【2年生のふり振り返りから】

本当に残念ですが、私たちは今年卒業式に参加することができません。私は今年1年間、新型コロナで世の中が暗くても、3年生が明るく全力で二中を引っ張ってくださったことが心に残っています。だからこそ最後に、今までありがとうの思いと、3年生に笑顔で二中を卒業してもらえるように、3送会で応援のメッセージを伝えたいです。



3年生に思い届けたい2年生

【1年生のふり振り返りから】

入学して最初に、部活の見学の時から入部してから、3年生の先輩に声をかけてもらってとてもうれしかったです。部活動が終わってからも、学校から帰るときにたくさん話をしたことを、今もよく覚えています。1年生は、3年生を送る会で劇をやりませんが、今までのありがとうを伝えられる会にしたいです。先輩、ありがとうございました。



3年生に思い届けたい1年生

1・2年生が、それぞれの思いを持ちながら、3年生を送る会を迎えようとしています。卒業式に在校生が参加できないからこそ、1・2年生の皆さんの全ての思いを込めて創りあげていきましょう。

「1・2年生合同合唱練習始まる」～3年生への思いを歌声にのせて～

新型コロナウイルス感染症のレベルが下がってきました。しかし、マスクやソーシャルディスタンス、換気などの配慮は確実に行った上で、3年生を送る会に向けて1・2学年が合同で合唱曲『君の隣にいたいから』の練習をしました。

「3年生に今までの感謝の気持ちを伝えたいです」「二中を卒業してもがんばって欲しい、その気持ちを届けたいです」練習に臨む1・2年生が、この曲に込める思いを語ってくれました。

練習中の歌声を聞いていると、何回も繰り返しているうちに声量が大きくなり、歌に思いが込められていることが伝わってきました。3年生を送る会でも、その思いをしっかりと3年生に伝えてください。



1・2年生で歌う『君の隣にいたいから』

「3年生 同窓会入会式」～卒業後も、「明倫の心」を胸に～



入会の記念品をいただく3年生

3月5日（金）、同窓会長の中村彰様、副会長渡邊努様にご臨席いただき、令和2年度同窓会入会式が行われました。

新入会員代表として、令和2年度前期男子副会長塩川慶規さんが挨拶の中で、「僕たちはこれから同窓会の一員として、二中を支えてくださっている方々の仲間入りをします。この二中を卒業した後も、二中生だったことに誇りを持つとともに、二中を卒業された先輩方のように、二中を支え、見守っていきましょう。」と力強く語ってくれました。

【連絡】

- ・学校評価アンケートの結果が、本校ホームページに掲載されておりますので、ご覧ください。
- ・3月24日（水）13:00～15:00まで、上田市役所新庁舎関係工事のため、本校テニスコート北側に、大型クレーン車が作業しております。工事関係者により安全は配慮されておりますが、通行には十分ご注意ください。

☆☆△▲今後の予定○●□■

3月10日（水）公立後期選抜試験②	13日（火）交通安全教室 3年生発育測定
13日（土）地区活動優先日（ノ一部活デー） ※地区の3年生を送る会等の企画は中止	14日（水）2年キャリア講演会
15日（月）3年生を送る会	15日（木）学年費引落日
16日（火）3学期終業式	16日（金）1年生発育測定
17日（水）卒業証書授与式	2年キャリアウォークラリー PTA総務・評議員会
18日（木）年度末休業	17日（土）上小・市P連総会
19日（金）公立後期選抜合格発表	19日（月）部活動オリエンテーション
26日（金）1・2年登校日	20日（火）避難訓練①
4月6日（火）令和3年度入学式 1学期始業式	23日（金）眼科検診
7日（水）通学指導 給食開始 PTA総委員会	28日（水）心電図検査
8日（木）部活動仮発足 生徒会入会式 生活オリエンテーション	29日（木）昭和の日
12日（月）家庭訪問～16日（金） 2年生発育測定	30日（金）授業参観日① 学年学級PTA・PTA総会

